

テーマ 「日光市を自分たちが暮らしやすいまちにするためにできること」

Ⅰ 市長「日光プライドの醸成」講話の概要

- ・ まちとは、働く場や買物できる場が少ない等のハード面だけではなく、人のつながりがあること、伝統や文化があることなど、全体的にとらえる必要がある。
- ・ 日光市「まちづくり基本条例」(市の最高規範)において、「未来にわたって愛し続けることができるまち「心を感じるまち日光」を力を合わせて創っていくことが必要で、それは「主体的にまちづくり」に関わる必要がある」と規定している。
- ・ まちづくり基本条例を進めていくには、シビックプライドを醸成していく必要がある。
- ・ 一人一人が、まちの一員であり、日光プライドを創るまちの一員である。
- ・ 暮らしやすいまちを考えるに当たっては、日光プライドをもち、今後も日光プライドを創っていく仲間になって欲しい。

市長講話の内容に対して、グループ間の対話で出された主な意見

	Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ
共感できること	・身近なコミュニティに関わっていくことが重要。	・まちづくりには主体的に関わる意識を持つことが必要不可欠。	・日光プライド醸成には、身近なコミュニティに関わり、一緒に活動していくこと。	・主体的にまちに関わる人を増やすことが重要。自分の住むまちを自分ごととしてとらえる。
気になったこと	・シビックプライド醸成には、主体形成の教育が必要。 ・当事者意識があるのか。	・自主的にまちづくりに関わる人が少ないと感じているが、必要性を感じていないのかも。 ・協力しやすいシステムが必要か。	・インナープロモーションのアイデアの出し方はどのように？	・身近なコミュニティに関わることが必要というが、関わりたくなる人を増やすにはどうしたらよいか。
自由感想	・LINEで発信していることを初めて知った。 ・市民に向けて情報を発信して欲しい。	・自主的にまちづくりに参加することのメリットが皆に分かりやすく伝えられると良いと思う。	・市域が広いので、それぞれ地域によって色が違う。	・日光には何があるか知らない。 ・市民が満足できる市であれば、良い市になるのではないかと。それが誇りにつながる。